

事務連絡
令和5年9月15日

関係各位

茨城県農業研究所 環境・土壌研究室

令和5年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会の参加申込について

標記研究会につきましては、すでに中日本農業研究センターから御案内がございましたように、本年度は茨城県で開催します。つきましては、下記のとおり参加申し込みの受付を行いますので期日までに申し込みをお願いします。

なお、本連絡は各都県・機関の代表者のみに送付しますので、貴都県・機関の関係者の皆様への連絡にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

1 申し込み方法

参加申し込みは、別紙1に必要事項を記載の上、お申し込みください。
研究会の詳細は別紙2のとおりです。

2 その他連絡事項

- (1) 宿泊について：各自で手配してください。
- (2) JR 特急「ひたち号」「ときわ号」：全席座席指定です。列車外と列車内とで料金が異なるのでご注意ください。
- (3) 10月31日の昼食について：各自でご用意願います。水戸駅周辺に飲食店があります。
- (4) オンライン接続情報について：研究会は対面とオンラインによるハイブリッド開催です。後日、オンライン参加の方には接続情報を送信します。
- (5) 現地検討会について：11月1日は8:50までに集合（地図参照）、受付をお願いします。帰路は、JR水戸駅南口にて14:30解散の予定です。昼食は「道の駅かわプラザ」の弁当・レストランをご利用ください。

3 問い合わせ先

- (1) 関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会
ア 農研機構 中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 環境保全型栽培グループ
主席研究員 徳田 進一
(Tel: 029-838-8814、 e-mail: sytoku@affrc.go.jp)
イ 関東東海土壌肥料技術連絡協議会
(ア) 正会員：農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 研究推進室
推進チーム長 鈴木 克拓
(Tel: 029-838-7157、 e-mail: suzukatu@affrc.go.jp)
(イ) 賛助会員及び準会員：JA 全農 東日本営農資材事業所
主席技術主管 齋藤 研二
(Tel: 03-6271-8296、 Fax: 03-5218-2540、 e-mail: saitou-kenji-w@zennoh.or.jp)
- (2) 現地検討会（11月1日）
茨城県農業研究所 環境・土壌研究室 室長 岡本 和之
(Tel: 029-239-7210、 Fax: 029-239-7306、 e-mail: ka.okamoto@pref.ibaraki.lg.jp)

担当：茨城県農業研究所 環境・土壌研究室 室長 岡本 和之
Tel: 029-239-7210、 Fax: 029-239-7306

●10月31日 研究会会場：「ザ・ヒロサワ・シティ会館」13時受付開始
対面とオンラインによるハイブリッド開催
(〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 697 番地)

- ・JR 水戸駅南口から 1.3km、徒歩で約 16 分、バスで約 5 分
- ・関東鉄道路線バス
北口 8 番「本郷・畑中」行き 北口 (12:30) 発 「文化センター」着
南口 2 番「本郷・畑中」行き 南口 (11:55、13:10) 発 「文化センター」着
※「文化センター入口」で下車した場合、会館まで徒歩で数分かかります。



水戸駅バス乗り場



水戸駅南口付近の地図

※昼食は各自でお願いします。水戸駅ビル内及び駅周辺の飲食店をご利用ください。

※命名権募集により、茨城県県民文化センターは新名称「ザ・ヒロサワ・シティ会館」と呼ばれていますが、バス停名は昔のままです。



10月31日 秋季研究会の会場)
 「ザ・ヒロサワ・シティ会館分館」1階 集合室8号
 ※幹事会は集合室7号で開催

- 11月1日 現地検討会
 現地検討会に参加される場合は移動用のバスに乗車してください。
 8時50分までに以下地図の集合場所（赤丸）へお願いします。



11月1日 現地検討会集合場所（大型バス待機）
 「水戸駅南口」1階
 水戸駅改札口を出て左折、広場に出たら左手の
 エレベーターをご利用願います。

令和 5 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

1 日 時

令和 5 年 10 月 31 日（火）13:15～17:00

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

令和 5 年 11 月 1 日（水）8:50～14:30

現地検討会（関東東海北陸土壌肥料部会・関東東海土壌肥料技術連絡協議会共催）

2 内 容

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会 令和 5 年度秋季研究会

- ・日時：令和 5 年 10 月 31 日（火）13:15～17:00
- ・場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館集会室 8 号（水戸市千波町東久保 697 番地）
及びオンライン
- ・テーマ：有機農業と土壌肥料研究 ―求められるものとは？―
 - （1）有機農業と環境再生 ―炭素をためて地力窒素を活用する土壌管理を探る―
小松崎 将一 教授（茨城大学農学部地域総合農学科）
 - （2）茨城県の有機農業に関する研究について（仮）
遠藤 佳那子 氏（茨城県農業総合センター）
 - （3）窒素循環から見た有機農業の特徴と課題
江口 定夫 氏（農研機構農業環境研究部門）
 - （4）有機質資材窒素肥効見える化の取り組み（※オンライン）
古賀 伸久 氏（農研機構九州沖縄農業研究センター）
 - （5）緑肥栽培や堆肥の施用が土壌微生物叢に与える影響
大友 量 氏（農研機構農業環境研究部門）
 - （6）有機イチゴの安定生産技術体系確立の取り組み
須賀 有子 氏（農研機構中日本農業研究センター）
 - （7）総合討議

3 現地検討会（合同）11 月 1 日（水）8:50～14:30

バス 2 台で移動します。バス 2 台で視察順序は異なりますが、ご了承願います。

- ・レインボーフューチャー常陸大宮ほ場 常陸大宮市三美 386-1 付近
- ・カモスフィールド常陸大宮ほ場 常陸大宮市三美 386-1 付近

4 後援 （一社）水戸観光コンベンション協会